

みなとぴあボランティアレター 第54号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2024.11

夏から秋にかけての活動を紹介します！

8/4 常設展示クイズラリー

8月4日（日）にクイズラリーを行いました。クイズラリーはボランティアさんのガイドを受けながら、クイズシートの内容を埋めていくもので、全て回答すると景品をゲットできます。解説、受付をするボランティアさんは全員様々な時代の衣装でコスプレ。それぞれの場所でボランティアが解説されるのを、参加者の皆さんは興味深そうに聞き入っていました。

56人のお客様にご参加いただき、用意したクイズシートが足りなくなるほど盛況となりました。おつかれさまでした。



各時代の女性がそろい踏み



ガイドも盛況！



ちょっと休憩。

8/12 たいけんのひろばなつまつり

8月12日（月祝）に高校生ボランティアで「たいけんのひろばなつまつり」を開催しました。前年度から参加している高校生に、今年度から新たなメンバーが加わり、学校も学年も異なるボランティア35名で5月から企画・準備に取り組んできました。当日は18名が参加し、たいけんのひろばでは「屋台でなつまつり」と「タイムスリップ」、2階常設展示室では「クイズラリー」、「トレジャーハント」の4つのプログラムを実施しました。当日は多くのお子さんご家族が来館され、全てのプログラムが大盛況となりました。

ステンドグラス風飾りづくりは花火やかき氷といった夏らしい下絵を高校生に用意していただきました。ゴム鉄砲の射的では、チャレンジする子どもたちに、高校生たちは応援したりアドバイスしたりと積極的に関わっていました。ヨーヨー釣りも一時は水風船を常に作り続けないと回らないほどに大人気でした。

昔のくらしの体験では、ひも結び、水引、風呂敷、石臼の4つの体験が行われました。どのコーナーも絶えず人が集まり、慣れない道具に苦戦する来館者に丁寧に使い方を説明していました。

クイズラリー・トレジャーハントは常設展示でのプログラム。クイズに挑戦したり、展示室に隠された宝物（折紙のトキなど）を集めたりと、子どもたちが楽しく挑戦していました。終盤は用意していた景品がな



ヨーヨー釣り

くなり、新しくかき集めなくてはならないほどでした。

当日の参加は130人、プログラムへの参加はのべ300人と大盛況となりました。3年生のボランティアの皆さんはこれにていったん活動は終了となります。本当にありがとうございました。



重い石臼を高校生がサポート



宝を見つけてシールを集め、
景品ゲットをめざします。



最後は記念撮影！
おつかれさまでした！

8/17 ステップアップ研修①

8月17日（土）にステップアップ研修を行い、17名の方が参加しました。今回は森学芸員、藍野学芸員が講師となり、小学校を対象としたガイドにおいて重要な点を共有しました。藍野学芸員からは小学校の年間スケジュールや授業の単元の内容から、当館での学習の位置づけが説明されました。森学芸員からは、小学生へのガイドでは知識の提供ではなく展示からの気づきを提供することが重要であることを説明した後、常設展示やたいけんのひろばでのガイドのポイントについて解説がありました。

当日は多くのご意見もいただきました。みなとぴあのボランティアでもある江南区郷土資料館の小島館長からは、資料館でのガイドの内容を紹介いただくとともに、ガイドの際にはある程度のテーマ設定が必要であるとのご意見をいただきました。

昔のくらし展の開催によるところはもちろんのこと、学校団体へのガイドは秋に本格化します。改めて学校の状況を踏まえた活動が求められることを意識する研修となりました。



9/21 歴史探訪

9月21日（土）に歴史探訪を行いました。今回の行き先は大河津分水周辺です。信濃川の水量を調整するこの分水路は、蒲原平野の水害、治水を語る上で欠かせないものです。

最初の目的地に至るまでの間は、バスの中で準備メンバーの平原さんと山下さんによる、信濃川下流における地形と生活、諏訪神社を中心とした宗教観などに関する説明が披露されました。事前に用意された資料の内容も豊富で、とても充実した移動時間となりました。

最初に訪れたのは横田破堤記念碑です。みなとぴあのガイドにおいてもハイライトの一つとなる出来事が実際に起きた場所であることもあり、熱心に解説文を読む方々が多くみられました。その次は恙虫（つつがむし）神社へ。こうした神社一つを取っても、かつての水害による被害をうかがうことができます。

お昼ごはんは分水町でも評判の食堂でいただきました。メニューはたれカツ丼定食に温泉卵がついた特別



メニュー皆様楽しそうに召し上がっていました。

昼食後は大河津資料館を見学。NPO 法人大河津資料館友の会の清水さんと岡村さんにガイドしていただきました。横田切れなどの水害によって生じた被害や、大河津分水の着工に至るまでと、完成までの苦労について紹介していただきました。外はバス内から、旧洗堰や現在の可動堰についてガイドをいただきました。それだけでなく、現在機能している管理棟も見学させていただきました。

次は大河津分水の改修工事についての学習施設「にとこみえーる館」を訪れました。過去、現在、未来と水害への挑戦が続いていることを学ぶことができました。その後は、大河津分水の通水に伴い増えた土地に造成された田地、西蒲原地区の排水機能を担う樋曾山隧道、横田切れ水位標のある宝光院（西区槇尾）を巡りました。

今回の歴史探訪は、6月の施設見学で巡った亀田郷と併せて、新潟市の水害と治水の歴史を深く理解する機会となったかと思います。当日は多くのご参加ありがとうございました。



10/5 ボランティアフェスティバル

10月5日（土）にボランティアフェスティバルを開催しました。当日は天候も良く、イベント日和となりました。5つのプログラムに加えて、今年は新潟趣味鉄振興会のご協力で鉄道模型の展示会も同時開催しました。

たいけんのひろばでは、上り人形・ぶんぶんゴマづくりやよろいの着付け体験に加えて、ひろば内にあるおもちゃの体験が行われました。よろいの着付けの体験は親子で楽しんだり、記念写真を撮ったりと盛り上がりを見せていました。松田さんが作成したコマ相撲の土俵もお披露目。一般のボランティアと高校生ボランティアのコマ対決も繰り広げられました。



常設クイズラリーでは、ベザイ船、萬代橋、新川底樋工事の模型・ジオラマに関するクイズに来館者が挑戦していました。景品の木彫り塔屋ストラップは好評でした。クイズラリーだけでなく、当日



ガイドも同時開催し、来館者の方々はボランティアの分かりやすく面白いガイドに聞き入っていました。

お茶会は美味しい抹茶と生菓子で来館者をおもてなしました。佐藤さんと小倉さんは着物を着用していただき

ました。新潟中央高校から参加していた
 だいた高校生ボランティアは、なんと茶
 道の経験あり！大活躍していただき、ボ
 ランティアさんも驚いていました。

旧税関庁舎で行われたうたごえ手芸広
 場では、午前は子ども向けの唄、午後は昭
 和歌謡が披露されました。特に午後は松
 田さんがギターを披露。今まで木村さん
 や渡辺さんと練習してきた成果が発揮さ
 れ、楽しい時間となりました。また室内で
 はボランティアさん秘蔵のレコードのジ
 ャケットが展示され、うたごえ喫茶のお
 店さながらの雰囲気醸し出されていま
 した。

国土交通省北陸地方整備局のご協力で
 行われた業務艇あさひでの西港見学では
 、万代橋から新潟空港までを、ボラン
 ティアのガイドで案内しました。午後は整理
 券が全て配られるほど好評でした。

新潟趣味鉄振興会のご協力で実施され
 た鉄道模型展示では、家族連れの見学が
 多くみられました。

企画されたプログラムはどれもボラン
 ティアの皆さんの個性が活かされたもの
 であつたと思います。準備メンバーの皆
 さま、当日参加された皆さま、本当におつ
 かれさまでした！



【編集後記】

今回は8月から10月にかけての活動を紹介しました。スタンプラリー、歴史探訪、ボランティアフェスティバルと、ボランティアの皆さまには経験・スキル・発想を大いに発揮していただきました。特にボラフェスには夏休みのイベントで大活躍した高校生ボランティアにも参加いただき、前年度に引き続き交流の輪が広がりました。今後もボランティアの個性を活かした様々なイベントを実施できればと思います。秋は日々のガイドやプログラムも多くありますので、引き続きご協力をお願いいたします！（貝沼）

2024.7月現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

NST 日和山五合目

北陸ガス

本間組

田中屋本店

新潟 たいらち

humming
ASAP TOUR

WIND
シャウインド

Travel Masters
TRAVEL MASTERS

飛騨の町
沼垂ビール

(順不同)